資料提供	
令和４年９月２７日	
担当課 （担当者）	高等学校課 （蓑原）
電　　話	0857-26-7916

倉吉東高校の国際バカロレア ディプロマ・プログラム（ＩＢＤＰ）の認定に係る教育長訪問について

倉吉東高校への国際バカロレア ディプロマ・プログラム（ＩＢＤＰ）の導入については、令和４年度認定校認定（令和５年度一期生入学）を目標に準備等を進めてきたところ、令和４年８月 30 日～31 日にＩＢＤＰ認定校となるための準備状況を最終確認するための国際バカロレア機構担当者による確認訪問が行われ、その審査の結果、令和４年９月 22 日、認定校に認定されました。

これに伴い、学校は、教育長へのＩＢＤＰ認定の報告のための教育長表敬訪問を下記のとおり行います。

今後、高校生国際バカロレアフォーラム（令和４年 11 月 20 日（日）倉吉未来中心で開催予定）等により県民への周知を図っていきます。

記

１　日　　時　令和４年９月２８日（水）午後４時から午後４時 30 分まで

２　場　　所　鳥取県庁第２庁舎５階　教育委員室

３　内　　容　国際バカロレア ディプロマ・プログラム（ＩＢＤＰ）の認定報告等

４　倉吉東高校におけるＩＢ教育導入について

・倉吉東高は、公立高校として日本海側初のＩＢＤＰの導入校となる。
・倉吉東高校の長期ビジョンである「倉吉東高のかたち」（2001 年策定）では「主体的な学習者の育成」と「２１世紀をリードする人材の育成」を柱としており、ＩＢ教育の理念や目標との親和性が高く、ＩＢ教育を取り入れることにより、「解のないことがらについて探究すること」等により、学習指導要領が目指す資質・能力でもある「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」の育成をより一層充実させ、国際バカロレアの普遍的な価値を倉吉東高校から全県に普及していくことが期待される。
・倉吉東高ではＤＰプログラムを実施し、グループ１～６の６科目と３つのコア科目（知の理論、課題論文、ＣＡＳ）を高校２～３年の２年間で学習し、高校３年 11 月に世界共通テストを受験する。
・倉吉東高では、ＤＰプログラムの６科目のうち「外国語（言語Ｂ）」と「数学（解析とアプローチ）」の２科目の授業を全て英語で実施（ネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチング）。

５　その他（国際バカロレア（ＩＢ）教育について等）

・1968 年、スイス・ジュネーブにＩＢ機構が設立され、年代別に４つのプログラム（ＰＨＰ（３～11 歳）、ＭＹＰ（11～16 歳）、ＤＰ（16～19 歳）、ＩＢＣＣ（16～19 歳、キャリア関連）が設定され、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界の構築に貢献できる、探究心・知識・思いやりに富んだ若者の育成を目標に掲げている。
・国内の認定校数（2022/6/30 現在）
　ＰＨＰ57 校　ＭＹＰ31 校　ＤＰ63 校（うち一条校は 41 校、公立は 10 校）
・10 の学習者像（探究する人、知識がある人、考える人、コミュニケーションできる人、信念を持つ人、心を開く人、思いやりがある人、挑戦する人、バランスが取れた人、振り返りができる人）を中心とした全人教育を行う。
・問いに対する答え（「正解」）を導き出すことが前提（⇒解法を学ぶ）の従来の学びから、問いに対する答えに「正解」がないことが前提（⇒思考の枠組みを学ぶ）の学びとなる。
・探究活動、グループディスカッション、プレゼンテーション等を通じて、高度な論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力等を身につける学びとなる。
・ＩＢ資格を活用した大学入試が可能な主な国内大学：
　北海道大、東北大、東京大、京都大、大阪大、岡山大、広島大、慶応義塾大、早稲田大他